

# 特別支援学級 国語科学習指導案

自閉症・情緒障害特別支援学級（あすなろ学級1組）  
8人（1年男子4人，3年男子2人，女子1人，6年男子1人）  
指導者 木原 正晶

## 1 単元名 よく聞いて考えよう（教材 めいたんていになろう）

### 2 単元の目標

#### (1) 全体目標

- 必要な事柄を選び，声の大きさや速さ，順序に気を付けて話すことができる。
- 話の内容に興味をもち，大事なことを聞き逃さないようにすることができる。
- 友達と「名探偵」を目指して，聞き方や話し方の学習を進めていく中で，互いによいところや頑張っているところを認め合い，協力して活動できる。

#### (2) 個人目標

A児 (1年)	○ 分かりやすいように相手に伝わる声の大きさと話すことができる。 ○ 大事なことを聞き逃さないように最後まで話を聞くことができる。
B児 (1年)	○ はっきりとした発音で話すことができる。 ○ 相手を見て話を最後まで聞くことができる。
C児 (1年)	○ 分かりやすく丁寧な言葉遣いで話すことができる。 ○ 大事なことを聞き逃さないように静かに話を聞くことができる。
D児 (1年)	○ 聞き手の方を向いて話すことができる。 ○ 話を最後まで静かに聞くことができる。
E児 (3年)	○ 大事なことが伝わるように順序に気を付けて話すことができる。 ○ 大事なことを聞き逃さないようにメモを取りながら話を聞くことができる。
F児 (3年)	○ 相手に伝わりやすいように大事な言葉を強調したり，間の取り方を工夫したりして話すことができる。 ○ 情報を選んで必要な事を意識しながら話を聞くことができる。
G児 (3年)	○ 相手に伝わる言葉や正しい発音を知り，話すことができる。 ○ 大事なことを聞き逃さないように静かに最後まで話を聞くことができる。
H児 (6年)	○ 相手に伝わりやすい言葉や話し方を考えて話すことができる。 ○ 相手に関心を向けて，大事なことを聞き逃さないように話を聞くことができる。

### 3 活動で目指す子供の姿

主体性	個人のためをもち，大事なことは何か考えながら，聞いたり話したりしようとする。
協働性	互いの考えを伝え合い，認め合いながら，迷子を探したり，アナウンスをしたりしようとする。
創造性	本単元で身に付けたことを振り返ることで，自信をもち，他教科等や実生活の中で，聞いたり話したりすることを生かそうとする。

### 4 単元について

#### (1) 単元設定の理由

本学級は，1，3，6年の8人の子供で構成されている。国語科の学習では，1年生は，平仮名や音読練習，二語文，三語文作りに取り組んでいる。3・6年生は，知的発達や認知特性を考慮して，当該学年もしくは下学年対応の内容を取り入れながら学習している。これまで，「話すこと・聞くこと」については，話すときに大切なこと（声の大きさ・話す速さ），聞くときに大切なこと（相手を見る・静かに聞く）に気を付けながら三つのヒントを聞いて正解を見付けるという活動を行った。意欲的に活動していたが，大事なことは何か考えながら話したり，聞いたりすることや相手意識や目的意識をもって活動することに課題が残った。

そこで，本単元では，「迷子探し」の活動を設定することで，子供たちが大事なことは何か考えながら聞いたり，相手に分かりやすく伝えたりすることができるようにする。また，メモを取ったり，アナウンスをしたりすることで，「話すこと・聞くこと」の力を伸ばせるようにする。さらに，友達と関わり合う場を多く設定し，協力して物事を成し遂げたり，お互いに頑張りを認め合ったりできるようにする。

指導に当たっては，単元の導入で，1学期の「話すこと・聞くこと」の学習で結成した「あすなろ探偵団」に迷子探しの依頼が届くことで，子供の目的意識や学習意欲を高めるようにする。次に，違いのある二つのアナウンスを聞き比べることで，伝える内容や話す順序を考えることができるようにする。次に，個に応じた方法でメモを取り，大事なことを聞き逃さないようにすることができるようにする。単元終末の「名探偵チャレンジテスト」では，学級全員を相手に迷子のアナウンスをしたり，迷子を探したりする活動を行うことで，目的や相手をより意識して話したり，聞いたりできるようにする。さらに，ペアで協力して活動したり，相互評価をしたりすることで，互いによいところや頑張っているところを認め合い，協力して活動できるようにする。

このような学習を通して，子供が，目的意識や相手意識をもって話したり，聞いたりすることの大切さを実感できると考える。また，他教科等の学習や実生活でも実践しようとする意欲も高まり，周りの人との関わりが広がると考える。

## (2) 子供の実態

子供	国語への興味・関心、態度や学習の特性など	「話すこと」に関すること	「聞くこと」に関すること
A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の読み聞かせが好きで、読書量も多い。</li> <li>平仮名はほぼ全て読み書きすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分から発表したり、考えを話したりすることは少ない。</li> <li>1年生の教科書をすらすら音読することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気が焦ってしまい、聞き逃してしまうことがある。</li> <li>大事なことを意識して聞くことが難しい場面がある。</li> </ul>
B児	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名は5割程度読める、3割程度書ける。</li> <li>読むこと、書くことに対する抵抗感が強く、国語の学習意欲が低いことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一文字ずつ拾い読みで音読をしている。</li> <li>発音が不明瞭だったり、幼児語を使ったりすることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語彙が少なく話の内容を理解することが難しいことがある。</li> <li>集中力が続かず、最後まで話を聞くことが難しい場面がある。</li> </ul>
C児	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名はほぼ全て読み書きすることができる。</li> <li>学年を超える語彙数があり、難しい言葉を使うことが好きである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>声色を変えたり、速さを変えたりしながら、音読することができる。</li> <li>自分の思いや考えを進んで話すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや思いを伝えたいという気持ちが強すぎて、相手の話を遮って、自分の話を始めることがある。</li> </ul>
D児	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名は全て読み書きすることができる。</li> <li>興味が移りやすく、学習へ集中することが難しい場面がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読は、拾い読みで、知っている語彙は少ない。</li> <li>伝えたいことをうまく伝えられずに、怒ってしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の途中で、興味が移り、最後まで集中して話を聞くことが難しい場面がある。</li> <li>話し手に体を向ける姿勢を維持することが難しい場面がある。</li> </ul>
E児	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字への興味が高く、筆順、字形など意識して書くことができる。</li> <li>慣れない環境では活動に参加することが難しい場面がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>何度も練習することで教科書をすらすら音読することができる。</li> <li>交流学級での活動中に自分の思いや考えを伝えることが難しく黙っていることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いて、相手を見て、最後まで話を聞くことができる。</li> <li>話の全てを聞き取ろうとしてしまい、大事なことを聞き逃してしまうことがある。</li> </ul>
F児	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉への興味が高く、国語辞典で、気になった語句を調べることができる。</li> <li>当該学年の教科書で学習することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや考えに理由を付けて話すことができる。</li> <li>伝えたいことが多すぎて、話が長くなったり、途中で内容が変わったりすることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し手を遮って話してしまい、話を最後まで聞くことが難しい場面がある。</li> <li>自分の興味に固執して、話の内容を聞き逃すことがある。</li> </ul>
G児	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名や片仮名、1年生程度の漢字は読んだり、書いたりすることができる。</li> <li>促音、拗音などの理解や活用が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えや思いを伝えようとするのは好きで、意欲も高い。</li> <li>伝えたいことを伝えられずに、諦めてしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の意味や話の内容が分かりにくく、集中して聞くことが難しい場面がある。</li> </ul>
H児	<ul style="list-style-type: none"> <li>定型文を使って文を書くことができる。</li> <li>物語や説明文を読んで自分の感想や考えをもつことが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いや考えを伝えることが苦手で、進んで話すことは少ない。</li> <li>故意に反対のことを言うことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話の内容に興味をもてずに、相手に関心を向けて話を聞くことが難しい場面がある。</li> <li>独語が多く、静かに話を聞くことが難しい場面がある。</li> </ul>

## 5 指導に当たって

### (1) 主体的な学びを実現する教師の手立て

子供たちが「あすなる探偵団」になり、依頼された「迷子探し」を協力して解決するという設定にすることで、本単元への興味・関心を高め、目的意識をもち、学習課題に意欲的に取り組むことができるようにする。また、振り返りカードで前時まで自分ができるようになったことや課題を振り返ったり、単元マップで本時の学習に見通しをもったりすることで、子供が「今日は話を最後まで静かに聞くことができるようになりたい。」など、個人のめあてを明確にもつことができるようにする。

### (2) 対話的な学びを実現する教師の手立て

教え合ったり助け合ったりできるペアで活動することで、互いの考えを伝え合い協力して課題を解決することができるようにする。また、選択式、穴埋め式の聞き取りメモや情報量の違うイラスト等を準備することで、学年差や実態差のある子供たち全員が大事なことを聞き逃さないようにすることができるようにする。

### (3) 深い学びを実現する教師の手立て

学級活動「2学期を振り返ろう」の中で、2学期の思い出を学級の全員で伝え合う活動を設定する。本単元で学習したことを意識して2学期の思い出を友達に伝えるように話したり、友達の話を開いたりすることで、身に付けた資質・能力の有用性や汎用性に気付き、学習や生活に生かそうという意欲を高められるようにする。

6 指導計画（総時数6時間）

過程	時間	指導のねらいと主な学習活動
つかむ・見通す	1	『名探偵になろう』の学習計画を立てよう。 【指導のねらい】 「迷子探し」をすることへの意欲をもち、学習計画を立てることができる。 【活動内容】 1 「あすなる探偵団」に依頼された「迷子探し」に挑戦することを知る。 2 「迷子探し」の活動をする。 3 「迷子探し」の感想を発表する。 4 「話すこと・聞くこと」が上手になるためにどうしたらよいかを考え、学習計画を立てる。
	1	「何をアナウンスしたらよいか。」 【指導のねらい】 迷子のアナウンスをするときに話す内容を考えることができる。 【活動内容】 1 二つのアナウンス（迷子を特定できるものとそうでないもの）を聞き迷子探しをする。 2 迷子のアナウンスをするときの話す内容を考える。
活動する	1	「どの順番でアナウンスしたらよいか。」 【指導のねらい】 アナウンスをするときの話す順序を考え、話し方に気を付けてアナウンスの練習をすることができる。 【活動内容】 1 話す順序が異なる二つのアナウンスを聞き、どちらが早く迷子を探すことができるかを考える。 2 話す順序を考えたアナウンスの原稿作りをする。 3 アナウンスの原稿を見ながら、話し方に気を付けてアナウンスの練習をする。
	1	「何をメモすればよいか。」 【指導のねらい】 迷子のアナウンスを聞いて、大事なことをメモに取ることができる。 【活動内容】 1 伝える内容の多いアナウンスを聞き、聞き逃さない工夫について考える。 2 メモを取ることの大切さについて考える。 3 アナウンスを聞き、メモを取る。
振り返る	1	『名探偵チャレンジテスト』に向けてアナウンス原稿を作ろう。 【指導のねらい】 迷子を早く見付けるために、伝える内容や話す順序に気を付けて、アナウンス原稿を考えることができる。 【活動内容】 1 次の「名探偵チャレンジテスト」に向けてアナウンス原稿を作る。 2 相手に伝わる話し方で、アナウンスの練習をする。
	1 本時	『名探偵チャレンジテスト』に挑戦しよう。 【指導のねらい】 これまでの学習を生かして、「名探偵チャレンジテスト」に取り組むことができる。 【活動内容】 1 「名探偵チャレンジテスト」の進め方とルールを確認する。 2 「名探偵チャレンジテスト」をする。 3 学習のまとめをする。



新たな学び	
学級活動名：「2学期を振り返ろう」（12月） 【指導のねらい】 2学期に頑張ったことや思い出に残ったことを振り返り、互いのよさを認め合うことができる。 【主な活動内容】 1 2学期に頑張ったことや思い出に残ったことから、発表する内容を決める。 2 伝えたい内容や話す順序を考える。 3 発表し、よかったところを振り返る。	

7 本時（6／6）

(1) 全体目標

これまでの学習を生かして、「名探偵チャレンジテスト」に取り組むことができる。

(2) 個人目標

A児	慌てずに最後まで話を聞き、相手に伝わる声の大きさと話すことができる。
B児	話の内容にあった絵カードを選んだり、正しい発音で話したりすることができる。
C児	静かに最後まで話を聞き、丁寧な言葉で話すことができる。
D児	相手に体を向けて話を聞いたり、話したりすることができる。
E児	メモを取りながら話を聞き、相手に伝わるように話すことができる。
F児	必要な情報を選んで聞いたり、話したりすることができる。
G児	静かに最後まで話を聞いたり、正しい言葉で話したりすることができる。
H児	相手に関心を向けて、大事なことは何か考えて、聞いたり、話したりすることができる。

(3) 展開 □ 教師の言葉掛け ◻ 子供の反応 聞く, 話す, 見る, 動く 学びを充実させるための活動 ◆評価に関すること ☆はICT活用上の留意点

過程(分)	主な学習活動と予想される子供の反応	子供に応じた具体的な手立て
見通す(10)	<p>1 学習の流れを確認する。</p> <p>2 前時の学習を振り返る。<b>見る</b></p> <p>3 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             名探偵になるために、大事なことは何か考えながら、話したり、聞いたりしよう。         </div> <p>(1) めあてを声に出して読む。</p> <p>(2) 個人のため(「今日頑張ること」)を決める。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             話す速さに気を付けて、聞く人に分かりやすいアナウンスをするぞ。         </div>	<p>○ 本時の学習の流れを子供と一緒に確認し、それを提示しておくことで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。【主】</p> <p>☆ 単元マップや前時までの活動の写真を提示することで、これまでの活動を想起し本時のめあてを確認することができるようにする。【主】</p> <p>○ 話すとき、聞くときに大切なこと『話す』(ゆっくり、声の大きさ)、『聞く』(相手を見て、静かに)を提示しておくことで、具体的な姿を意識しながら活動を進められるようにする。【主】</p> <p>○ 「名探偵チャレンジテスト」に取り組むことで、目的意識(「話す・聞く」が上手になって名探偵になるために)や相手意識(聞いている友達が分かるように)を明確にもつことができるようにする。【主】</p>
活動する(25)	<p>4 「名探偵チャレンジテスト」をする。<b>話す 聞く 動く</b></p> <p>(1) 「名探偵チャレンジテスト」の進め方とルールを確認する。</p> <p>(2) 「名探偵チャレンジテスト」をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ① アナウンスと迷子探しに分かれて行う。              ② アナウンスは2回までとする。              ③ 聞き直し、質問はしない。              ※ 4問中3問正解したら合格する。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             今の「名探偵チャレンジテスト」でよかったところ、アドバイスできるところはありませんか。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             アナウンスが速くて、聞き取ることができませんでした。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             緊張して速くなってしまいました。次は気を付けます。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             書くことが多くて、メモができないところがありました。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             メモは全部じゃなくて、大事なところだけ書けばいいよ。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             みなさん、大事なことを考えながら話したり聞いたりすることができるようになりましたね。         </div>	<p>A児： 前時に作成したアナウンス原稿を確認したり、ペアの友達の話し方を参考にしたりして、アナウンスをすることで、自信をもって話すことができるようにする。</p> <p>B児： アナウンスは教師と一緒に話したり、聞くときは絵カード式のメモを使ったりすることで、文字への抵抗感を減らしながら活動できるようにする。</p> <p>C児： 掲示している聞くときに大切なことを意識させることで、アナウンスを静かに最後まで聞くことができるようにする。</p> <p>D児： アナウンスを最後まで聞いたり、聞き手を見て話したりしている場面を称賛することで、意欲をもって活動できるようにする。</p> <p>E児： 聞き取りメモは穴埋め式にすることで、大事な言葉を聞き逃さないようにできるようにする。</p> <p>F児： 「できるだけ早く迷子が見付かるようにしてね。」と言葉掛けすることで、聞くときは必要な情報だけメモを取れるように、話すときは話す順序を考えて話せるようにする。</p> <p>G児： 聞き取りメモは選択式にすることで、大事な言葉を聞き逃さないようにすることができるようにする。</p> <p>H児： 低学年でも分かるアナウンスを考えるように言葉掛けすることで、相手に伝わる話し方や言葉を考えることができるようにする。</p> <p>○ 「迷子探し」のアナウンスは、ペア(1年生ペア二組、3年生ペア)で行うようにすることで、それぞれの個人目標を達成するために教え合ったり、助け合ったりすることができるようにする。【対】</p> <p>○ 「迷子探しの放送ブース」を用意し、アナウンス前のチャイムを流すことで、より臨場感を高め、意欲をもち「迷子探し」に取り組むことができるようにする。【主】</p> <p>○ 「迷子探し」の問題は、それぞれの子供で情報量を変えることで、個人目標に対応した学習に取り組むことができるようにする。【主】</p> <p>○ 一問ごとに活動を振り返ることで、アナウンスの内容やメモの取り方について互いに助言できるようにする。【深】</p> <p>◆ これまでの学習を生かして、「名探偵チャレンジテスト」に取り組むことができたか。</p> <p>○ 自己評価カードで本時の自分の活動を振り返り、「話す・聞く」についてよくできたことや工夫したこと、うまくいかなかったことに気付くことができるようにする。【主】</p> <p>○ 「名探偵チャレンジテスト」の合格証として「名探偵グッズ」を渡すことで、本単元の学習の達成感を高めるようにする。【主】</p> <p>○ 連絡帳を提示し、「帰りの会で、明日の時間割をメモすることができますか。」と尋ねることで、本単元の学習(大事なことを聞き逃さないようにメモを取る)を実生活で生かそうとする意欲を高めるようにする。【深】</p>
振り返る(10)	<p>5 本時の活動を振り返り学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             聞くときも話すときも大事なことは何か考えることができるようになりました。         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             これからも、大事なことを聞き逃さないようにメモを取りながら聞きたいです。         </div> <p>6 名探偵グッズを手に入れる。</p>	

「よく聞いて考えよう～めいたんていになろう～」本時（6／6）における授業想定シート

本時で期待される子供の姿

主体性	個人のめあてをもち、「名探偵チャレンジテスト」に主体的に取り組もうとする。
協働性	互いの考えを伝え合い、認め合いながら、迷子を探したり、アナウンスをしたりしようとする。
創造性	本時で身に付けたことを確認することで、自分に自信をもち、他教科等や実生活の中で、聞いたり話したりする場面に生かそうとする。

育成を目指す資質・能力

大事なことを考えながら、話したり聞いたりすることができる。

本時で働かせたい「見方・考え方」

見方（～に着目して）

考え方（思考の枠組み・方法）

A, B, C, D, E, G 児	「迷子探し」に必要な大事なこと（名前、性別、服装、持ち物等）に着目して、話したり聞いたりすることができる。
F, H児	「迷子探し」に必要な大事なこと（名前、性別、服装、持ち物等）に着目して、情報を選んで聞いたり、相手に伝わるように話したりすることができる。

見方・考え方を働かせた子供の発言の想定と教師の言葉掛け

課題解決で働く見方・考え方

4 「名探偵チャレンジテスト」をする。



山下花子さんという6歳の女の子を探しています。赤い帽子を、……。

話すのが速すぎて、何歳か分からなかった。



「迷子探し」に必要な大事なことに着目して、大事なことは何か考えながら話したり聞いたりすることができる。



女の子はたくさんいるから、服装や持ち物をしっかり聞かないと迷子を探せないぞ。（F・H児）

「迷子探し」に必要な大事なことに着目して、話を聞いた多くの情報の中から必要な事を取捨選択することができる。



今の「迷子探し」でよかったところ、アドバイスできるところはありませんか。

話すのが速くて、聞き取ることができませんでした。もうすこしゆっくりでもよかったですね。



「迷子探し」に必要な大事なことに着目して、相手に伝わるために聞いたり話したりするときに大切なこと（話す速さ）を意識することができる。



そうですね。緊張して速くなりました。次は、気を付けます。（全員）



ぞうのぬいぐるみを持っている子は他にいなかったからすぐに探せました。よいアナウンスでした。（F・H児）

「迷子探し」に必要な大事なことに着目して、相手に伝えるために必要な情報に気づき、活用することができる。

5 本時の活動を振り返り、学習のまとめをする。

話すときも聞くときも大事なことは何か考えることができました。（全員）



これからも、話を聞くときは、大事なことを聞き逃さないようにメモを取りながら聞きたいです。（全員）



学習内容の他教科や実生活とのつながりに着目し、生かそうとすることができる。



みなさん大事なことは何か考えながら、話したり聞いたりすることができました。

振り返りにおいて期待される子供の発言や記述

- ・ 大事なことは何か考えながら、話したり聞いたりすることができました。（全員）
- ・ 相手に分かりやすい言葉や、話し方を考えて話すことができました。（F・H児）